

今村復興大臣の参議院議員食堂での被災地支援取組に関する ぶら下がり会見録

(平成29年2月22日(水) 1220～1225 於) 参議院議員会館食堂)

1. 発言要旨

今日は、参議院議員食堂へ参りまして、非常に盛況でよかったなと思います。特に、入り口にもずらっと並んでいるし、大変うれしく思います。

この物販も、もっと思い切ってスペースを広げて、大セールスを、この場を使ってやれたらなと思いました。

それから今、公明党の代表もお見えになって、特に福島「うみラボ」の釣りの場面なんかを見て、大変びっくりされている。

こういったことをしっかりアピールして、とにかく風評・風化の払拭に我々もしっかり努めていきたいと思います。

今日も、食堂の中も全部満員だもんね。こんなに盛況だとは思いませんでした。

2. 質疑応答

(問) 風評・風化の対策に一番大切なこととして、今この6年目を迎えるに当たり、どんな取組が大切だと思われますか。

(答) とにかく、まず論より実行で、我々を含めてみんなでいろんな物を買って、そして、またいろいろ出掛けていって、そういうことをやろうよということが一番大事だと思います。

まず「買い(隗)より始めよ」なんてしゃべり掛け言葉で言っていますけどね。

(問) 情報発信というのも大切な問題ですか。

(答) もちろんそうです。こうやって我々がやっていることを発信してもらって、それを受けていろんな消費も増えるし、いい循環になっていけばいいなと思います。

(問) なかなか福島県の物を買える場所というのも今、風評などで限られています。今後こうした場を設けるとするのは復興庁として、またやっていきたいという思いはどうでしょう。

(答) いろんなところで、とにかくやっていただきたいと思いますね。

それと、やっぱりもっと定常的にアンテナショップみたいなものも大きくつくってさ、そして、特に生鮮食料品、野菜などどんどん持ってくればいいと思います。そうしたら、奥様方などたくさんの方が来てくれると思いますよ。

(以 上)